



第2戦 6月12日(日)

幕張

ジャパンカップ第2戦の舞台となる千葉県は、
全国でも有数のトライアスロンが盛んな地。
ここで今年も全国のトライアスリートが集結し戦いの火花を散らす。
エリート・一般選手がともに競うEKIDENも幕張ならではの大会として注目を浴びる。

潮風とともに 新都心を駆け抜ける 幕張にトライアスリートが集結



NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦

2005ITUインターナショナルイベント幕張大会

2005JTUジュニアスプリントトライアスロンシリーズ第1戦

2005幕張新都心トライアスロンマリンEKIDEN

トライアスロン色に染まる一日

6月12日(日)、NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦・2005ITUインターナショナルイベント幕張大会が幕を切る。

トライアスロンの盛んな千葉県らしく、毎年多くの観衆を迎える本大会は選手らの闘争心をより一層かきたて、トライアスロン熱が会場を埋め尽くす。

昨年からスタートしたEKIDENでは、エリート・一般の垣根を越えた熱いバトルが繰り広げられるなど、トライアスロンの魅力がぎゅっしりつまった一日となる。

ジャパンカップとしてスタートしてはや4年。幕張大会は今年も日本のトライアスロンシーンを盛り立てる。

男女ともに地元で快勝

昨年の女子のレースは、アテネ・オリンピック日本代表であり、地元でもある中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)の独壇場となった。オリンピック後間もない開催であったにもかかわらず、疲れを一つも見せないキレた走りで見事2時間4分15秒で優勝。2位には出産後久々のレースであったにもかかわらず

らず、そのハンディをものともしない快走でニコル・ハケット(AUS)が、3位には千葉を拠点としている上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)が入った。

一方男子は、いままでケガに苦しんでいた山本淳一(K's-Y・稲毛ITC)がスイムを10位で上がると、バイクではトップ集団をうまくコントロールしランへ。ランでも積極的な走りを見せ、地元で見事51.5km初優勝を遂げた。続いて2位にセス・ウェリング(USA)、3位には期待の若手益田大貴(湘南ベルマーレ)が入った。

風と波をどう読むか

幕張大会は近年強風に見舞われ、今年もスイムからハードコンディションが予測される。バイクでも横風を受ける海岸線がコースとして設定されているので、波の特性と風向きをどう読むかが一つのポイントとなるだろう。また、ランコースは一見平坦だが、途中には階段もあるため予想以上の脚力が求められる。

この難コースを攻めきり、千葉マリンスタジアム横の大観衆を前にトップでフィニッシュするのは果たして誰なのか!? 最後まで予測のつかないレースとなりそうだ。

またこの大会では、JTUジュニアスプリントトライアスロンシリーズの第1戦が行われる。



Start エリート:女子7:30 男子9:00
EKIDEN:13:30
距離 エリート:51.5km(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)
EKIDEN:(スイム500m、バイク10km、ラン3km)×3
テレビ放映 テレビ東京・NHK-BS1・海外90カ国以上(2004年実績)
Web <http://www.keiyo-isc.org/makuhari.htm>
問い合わせ 〒104-0045東京都中央区築地3-5-10
日刊スポーツ新聞社
TEL 03-3546-5841 FAX 03-3546-6012
特別協賛 NTT東日本

歴代チャンピオン

	女子	男子
2002	ジル・サベージ(CAN)	マイルス・スチュワート(AUS)
2003	エマ・スノーシル(AUS)	カートニー・アキンソング(AUS)

2004Result

女子	1	中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	2:04:15
	2	ニコル・ハケット(AUS)	2:04:41
	3	上田 藍(グリーンタワー・稲毛ITC)	2:05:32
男子	1	山本 淳一(K's-Y・稲毛ITC)	1:54:02
	2	セス・ウェリング(USA)	1:54:44
	3	益田 大貴(湘南ベルマーレ)	1:55:10

